愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	梶浦 恭子	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

各自の研究テーマに沿って研究を遂行する。将来、社会人としてまたは保育者として、求められる論理的な思考力、文章力、表現力を身につける。研究成果を第三者に伝えられる表記方法、プレゼンテーションの方法を学ぶ。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業では、おのおのの進行状況を定期的にプレゼンテーションする。個別研究日はある（原則）。が、グループワークの意見交換（ディスカッション）時間を持つことは互いの知見が広がる。そこから新たな研究の視点やヒントを得て研究の問題解決に役立てられると考えられる。刺激し合う関係性が持てるよう学生からと教員から提案し合い、進める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	スケジュールをたてる 卒業論文の構造	個別の授業（卒論）日確認をする ≪卒論執筆スケジュール≫	□
第2回	論文の題名（仮）を決める	現状分析と問題提起（議論の紹介２～３）と自分の論（主張がわかる）	□
第3回	論文を整える　最後の文献収集 ＜主題文（序論：はじめに）のフォーマット＞入力その１	序論：はじめにの執筆 問題点の指摘　目的の明確化　その確認（文献を足す）と添削	□
第4回	＜主題文（序論：はじめに）のフォーマット＞入力その２	序論：はじめにの執筆 添削の修正	□
第5回	論文のかたち　結論から入る論文	論文入門　（序論、本論、結論）※参考図書「中高生からの論文入門」　何が言いたいか：自分らしい論文を心がける	□
第6回	本論（２章から４章）執筆	実践体験事例・論文主張（代表的な論）・調査　自分の論拠を詳述	□
第7回	終章　議論の要約	第５章　議論の要約　２章から４章の議論の要約　自分の主張への論理を再確認	□
第8回	終章　総合考察　今後の課題	第５章　総合考察　今後の課題	□
第9回	結論	第５章　総合考察　今後の課題 結論の添削・修正・提出の繰り返し	□
第10回	論文を整える 引用文献等の整理	論文の場合：400字×30枚以上 最後に補足資料、注釈、引用、参考文献の提示	□
第11回	発表資料（要旨）の作成	要旨集録　指定された書式を守り作成 個人研究の場合2頁に収める	□
第12回	発表資料の推敲	発表資料の推敲とともにプレゼンテーション準備も行う	□
第13回	ゼミ内発表会	ゼミ内で発表の練習　掲示物についての留意点	□
第14回	ポスター発表準備	見せる、伝える、相手を受け入れ尊重する対応表現	□
第15回	発表会	発表会の注意事項確認　反省会（振り返りと課題） お礼、片付け（共同作業）、感謝	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

個別授業で対応するため、指示するキーワード、要約や事例や調査、改善点を次回の授業までに行い準備（A41枚以上）を必ず整え提示できるようにする（2時間）。研究を深めるために、ディスカッションで得られた知見のまとめをすることと見つけた自己課題調査には直ぐに取

りかかる（2時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

研究成果を報告するためのレポート課題の内容を確認する。その後も、研究をより深められるような自主学習の方法の提案を受け入れたり、資料検索を行い収集する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◇ 2018子ども発達DP1	幼稚園教育要領、教育基本法等に示された教育の目的や基本の内容を理解する・体得する基礎的な資源能力を身に着けるために、自己課題を持ち探究心を持ち続け、知識力を身につけ、論文記述に向かうことができる
	◇ 2018子ども発達DP2	追究した研究記述の提示とその説明等のゼミ場面、相手を思いやり尊重できる等という人間力（自らを高め他者を受容する感覚）を生活態度で表し体得している
	◆ 2018子ども発達DP3	保育現場で直面する幼児の発達や関係性における多様な問題・課題に幼児理解上に立った実践報告ができる力を習得できている

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			15%	85%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

レポート課題　「自分にとってのよいテーマは何か（10）」「①明確な動機はどこにあるか（10）、②先行研究がいくつあるか（25）、③問の形式で示すことができているか（10）」「調査していること、事例について、作品について（15）」「まとめ（15）」

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	最新版　大学生のためのレポート・論文術	978-4816350573
2	思考を鍛えるレポート論文作成法　［第３版］	978-4766425772
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	中高生からの論文入門	978-4065144152
2	とぎすまそう！安全への感覚～里山活動でのリスク管理～（自然体験教育ブックレット3）	978-4990594367
3	学校教育を活かす自然体験教育（自然体験教育ブックレット 1）	978-4990594336
4	あなたにもできる！環境教育・ESD（自然体験教育ブックレット2）	978-4990594350
5	野外教育における安全管理と安全学習―つくる安全,まなぶ安全(野外教育入門シリーズ)	978-4764415829